



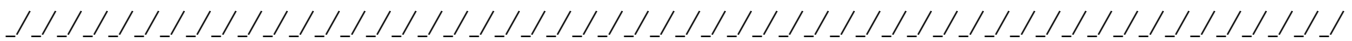
2006/6/13

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第 18 号



○ INDEX



* TOPICS

全国安全週間実施要項

* 今月の Key Word【メンタルヘルス運動のすすめ】

* 労働衛生事例

…特定化学物質による中毒等

* 新着情報

…新着雑誌のご案内

* 研修・セミナーのご案内(6月・7月)

○ TOPICS

■平成 18 年度全国安全週間実施要綱

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2006/07/tp0701-1.html>

(厚生労働省)

1 趣旨

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、本年で79回目を迎える。…(1部抜粋)

○ 今月の Key Word【メンタルヘルス運動のすすめ】

☆ 会社で推進するための10カ条 ☆

従来、精神衛生管理とか精神保健活動ということについての大方の理解は、精神障害者対策というイメージが強いようです。とくに会社のトップの方々は、弱い人とか、駄目な人というイメージが固着しているケースが非常に多いのです。

この点を払拭することが大切ですから、従来使っていた悪い垢のついた「精神衛生管理」とか「精神保健」という言葉を使わないようにしなければなりません。

新しい内容の活動をするためには、「メンタルヘルス」というような、新しいイメージの言葉を使うことが大切です。

そして、言葉だけでなく、活動内容も健康な社員全員を対象にした活動に変更しなければなりません。全社を巻き込んで「メンタルヘルス運動」を展開することが大切です。

全社を巻き込んで運動展開をするためには、次のような10カ条を考えなければいけません。

- (1) 全社員一人ひとりに、仕事のうえでも家庭生活のうえでも、メリットがある内容でなければなりません。
 - (2) プラスのイメージのものであることが必要です。
 - (3) 社内のすべての部門にとってメリットがあることが必要です。人事部や健康管理部などだけにメリットがあるようなイメージはよくありません。
 - (4) 専務・常務クラスをトップとする「メンタルヘルス推進委員会」のような全社的にオーソライズされた推進母体を設けることが大切です。
- さらに、事業所長をトップとする事業所メンタルヘルス推進委員会を、各事業所ごとに設けて運動を推進します。
- (5) トップをはじめとして、正しい理解がないと、どれほど良いことでも、なかなか社内に浸透しませんから、トップ教育、部長教育、課長教育から始めて新入社員にいたるまで正しい理解を得るために、あらゆる機会を通じて教育・PRをする必要があります。
 - (6) メンタルヘルス運動推進の経過と、そこから得られた効果について、全社員に知らせることが大切です。とくにトップに対しては、常に「効果の説明」をわかりやすく報告することです。
 - (7) 全社一気にが無理であれば、「モデル事業所」か「モデル部門」を設けて試して、全社実施のときに注意すべきポイントを洗い出すとともに、モデルから得られたメリットを全社に周知させて、全社展開の動機づけ情報とします。
 - (8) 労働組合の完全な理解と、バックアップを得ることは当然のことです。
 - (9) 効果をトップや全社員に知らせるときには、必ず数値表示をすることを忘れないことです。
 - (10) 可能であれば、精神科医やカウンセラーではなくて、メンタルヘルスに造形の深い社外のアドバイザーと契約して、協力を得るようにすることがよいようです。精神科医やカウンセラーが表に出ると、やはり障害者を中心に考えていると誤解されやすいからです。専門家にあくまでも裏方をしてもらうようにすることが望ましいのです。

(毎日5分 元気が出る「こころの体操」成美文庫 1999年)

.....

○ 労働衛生事例

.....

労働衛生事例(2例—平成16年—)

特定化学物質による中毒等

《例 1》

・硫化水素による中毒

【業種(労働者数)】

化学工業(13名)

【発生月】

6月

【被災者数】

中毒2名

【発生状況】

各種化学工業製品を製造する事業場において、電子機器のプリント基板のエッチング、下水処理等に使用された塩化第二鉄溶液をろ過しリサイクルするフィルタープレスのろ布洗浄のため、希塩酸をプレス内に流していたところ、ろ布を固定するろ板のパッキンが劣化していたことから、洗浄中にろ板継ぎ目から希塩酸が噴出し、塩化第二鉄ろ過の過程で発生する不純物でプレス本体、プレス室内に大量に付着、堆積していた硫化鉄と反応し、高濃度の硫化水素が発生した。被災者は、プレス室より液体が漏れているとの知らせを受け、運転停止のためにプレス室に防毒マスクを着用せずに立ち入り硫化水素中毒となった。

【発生原因等】

- ・呼吸用保護具未着用
- ・作業手順未策定
- ・安全衛生教育不十分

《例 2》

・一酸化炭素による中毒

【業種(労働者数)】

鉄鋼業(505名)

【発生月】

6月

【被災者数】

死亡1名、中毒5名

【発生状況】

ボイラーの定期修理工事の初期段階において、回転式水封弁により高炉ガスの供給が遮断されていたが、その遮断が破れたことにより当該ガスがボイラーおよびその周囲に漏れ出し、発電所の建屋内にて当該ボイラー水冷作業を行っていた労働者1人が、高炉ガスに含まれる一酸化炭素を吸入し死亡し、1人は一酸化炭素を吸入し、中毒となった。

また、同建屋内に死亡者救助のため、入場した他の4名も一酸化炭素を吸入して中毒となった。

【発生原因等】

- ・関係者間の連絡調整不十分
- ・設備の点検整備不徹底
- ・作業標準不備
- ・検知・警報機の不備
- ・危険性・有害性の認識不足
- ・安全管理体制不備
- ・安全衛生教育不十分

○ 新着情報

☆ 新着雑誌 & パンフレット ☆

- 安全と健康／6月号 特集◎暑さから身を守る―暑熱作業・高温時の屋外作業―
 - 安全衛生のひろば／6月号 特集◎快眠熟睡ノウハウ集
 - へるすあっぷ21／No.260 特集◎どうしてですか？奥様の健康支援
 - 労働者の心の健康の保持増進のための指針
(パンフレット 厚生労働省、都道府県労働局、労働基準監督署)
 - 平成18年度メンタルヘルス対策支援事業のご案内
(パンフレット 厚生労働省・中央労働災害防止協会)
-

○ 研修・セミナーのご案内(6月・7月)

★衛生管理者等研修

会場:産業保健推進センター会議室

時間:14:00～16:00

▼6月22日(木)

労働衛生保護具の管理の方法 ―フィットテストを用いた呼吸用保護具の着用管理を中心に―
田口 信康(基幹相談員)

▽7月4日(火)

健康情報保護の実際について 油布 文枝(基幹相談員)

▽7月14日(金)

健康管理のABC ―健診結果を生かすために― 谷口 邦子(基幹相談員)

▽7月20日(木)

作業環境測定結果の活用

―リスクアセスメントに用いる環境測定及び評価の手法― 田吹 光司郎(基幹相談員)

★産業医研修

時間:18:30～20:30

▼6月16日(金)

日常の産業医活動における危険予知のすすめ方 青野 裕士(基幹相談員)

会場:大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 2階 大会議室

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▼6月28日(水)

職場における高血圧対策 木下 昭生(基幹相談員)

会場:大分産業保健推進センター

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▽7月10日(月)

職場のメンタルヘルス ―事例への対応― 原尻 慎一郎(特別相談員)

会場:大分産業保健推進センター

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▽7月31日(月)

職場における効果的な喫煙対策の進め方 青木 一雄(基幹相談員)

会場:大分県中部地域産業保健センター(別府医師会)

☆基礎/後期2 生涯/専門2

★カウンセリング研修

時間:18:30~20:30

▼6月13日(火)

積極的傾聴 ―グループワーク― 佐用 槇子(基幹相談員)

会場:コンパルホール 4階 アートルーム

▽7月11日(火)

事例検討 佐用 槇子(基幹相談員)・渡嘉敷新典(特別相談員)

会場:産業保健推進センター会議室

★産業保健セミナー

会場:大分県医師会館

時間:14:00~16:00

6月30日(金)

重大事故災害を未然に防ぐために ―リスクアセスメントをベースとした OSHMS の構築―

青野 裕士(基幹相談員)・古庄 義彦(基幹相談員)

★AED 体験研修(自動対外式除細動器)

会場:産業保健推進センター会議室

時間:14:00~16:00

7月25日(火)

大切な命を救うためにあなたにもできることがあります ―救命の連鎖とAED―

油布 文枝(基幹相談員)

◎いずれの研修もホームページからお申し込みいただけます。

↓↓↓

http://www.oita-sanpo.jp/H18_training/top.htm



メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、info@oita-sanpo.jp までお願いします。
皆様のご意見をお待ちいたしております。

..今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました..



発行:独立行政法人 労働者健康福祉機構
大分産業保健推進センター
<http://www.oita-sanpo.jp/>

